# 令和６年度事業報告書

令和６年４月１日から令和７年３月 31 日まで

特定非営利活動法人広野わいわいプロジェクト

## １．事業の成果

令和 6 年度において当法人は定款に基づき、町民と町外の方々との賑わい交流事業を中心に、一年を通じて活動を展開しました。

### （1）特定非営利活動に係る事業

#### 1）町民と町外の人との賑わい交流事業

広野町のオーガニックコットン畑およびひろの防災緑地において、主に首都圏からのボランティアを受け入れ、地域住民とともに除草などの管理作業を実施しました。さらに、交流会を開催することで相互理解を深め、交流人口および関係人口の増加に努めました。

#### 2）オーガニックコットンの栽培・販売事業

津波被害を受けた地域の塩害による耕作放棄地を有効活用し、塩害に強いコットンをオーガニック栽培にて生産しました。被災地からの情報発信とコットン販売を通じて、震災および原発事故に関する風評の払拭に貢献しました。

#### 3）都市公園・森の再生・維持管理事業

広野町の太平洋沿岸に位置する『ひろの防災緑地』内の『Present Tree in ひろの』エリアにおいて、枯渇や倒伏した樹木の状況確認、管理杭の点検、下草の繁茂状況の確認、清掃・除草作業など年度を通じて実施しました。都市公園として位置付けられている『ひろの防災緑地』において、森の再生を目的とした植樹を行い、その樹木の育樹管理を継続することで、樹木の健全な成長と防災緑地の景観保持に努めました。

### （2）その他実施事業

#### 1） 令和６年度広野町心の復興事業「ひろの笑顔サンサンプロジェクト」

地域住民の生活（生業）の再建や生きがいの創出、地域コミュニティの再構築を支援しました。これにより、地域住民の心の復興を促進し、震災前以上の広野町の活性化と、持続可能な地域社会の創造に寄与することを目的として実施しました。

## ２．事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

| 定款の事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数 | 受益対象者の範囲及び人数 | 支出額（円） |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 町民と町外の人との賑わい交流事業 | ボランティアの受入、地域住民との交流会 | 令和6年4月1日<br>～<br>令和7年3月31日 | 広野町内他 | 16人 | 地域住民及び首都圏住民<br>延べ100人 | 116，784 |
| オーガニックコットンの栽培・販売事業 | オーガニックコットン栽培管理とコットン販売 | 令和6年4月1日<br>～<br>令和7年3月31日 | 広野町内 | 16人 | 地域住民<br>延べ400人 | 24，833 |
| 都市公園・森の再生・維持管理事業 | 「ひろの防災緑地」のうちの「present tree in ひろの」エリアの樹木育所管理 | 令和6年4月1日<br>～<br>令和7年3月31日 | 広野町内 | 16人 | 地域住民<br>延べ100人 | 8，978 |

(2)その他実施事業

| 事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数 | 支出額(円) |
|---|---|---|---|---|---|
| 令和6年度広野町心の復興事業「ひろの笑顔サンサンプロジェクト」 | ○まちなかマルシェ<br>町中心部広野駅前通りに震災前の賑わいを取り戻すことを目的に、駅前通り交流施設とその駐車場を会場にまちなかマルシェという井戸端的交流の場を提供し駅前に足を運んで貰うよう定期的に開催した。<br>○農産物栽培他<br>当法人が運営する笑顔サンサン農園にて野菜などの種を播いて育て園内の共同作業者と交流し、農産物栽培を通じて喜び楽しみや生きがいを見出すことにより震災前の生活を取り戻すことを目的に取り組んだ。<br>○交流型震災被災地ツーリズム<br>過去を振り返りながら、未来の広野町をともに描いてみませんか？「AI広野未来図＆駅前通り回顧録づくりワークショップ」を開催、参加者の願いや想像する未来の広野町を視覚化し、郷土愛を育む機会を提供した。さらに、昭和時代の広野駅前通りを回顧し、懐かしの風景や思い出を皆で語り合う「交歓会」実施した。 | 令和6年4月1日<br>～<br>令和7年3月31日 | 広野町内他 | 16人 | 2，958，174 |

以　上